

おうはん ぶ 「黄斑部」のおはなし 2

ちゅうしんせいしようえきせいみやくらくもうまくしよ
～中心性漿液性脈絡網膜症～



新年あけましておめでとうございます。院長の梅津由子です。
クリニックをオープンして4回目のお正月を迎えました。今年は巳年、蛇のように冷静・沈着？に診療をすすめていきたいと思っています。

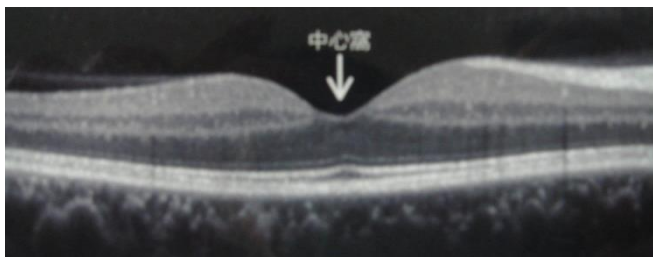
さて、日ごろお仕事で忙しい毎日を送られていても、年末年始は久しぶりにゆっくり過ごされた方も多いと思います。今回は、20代から50代(特に30～40代)の、いわゆる働き盛りの男性に多い病気のお話をいたします。その名は「中心性漿液性脈絡網膜症」チュウシンセイショウエキセイミヤクラクモウマクショウ…舌をかみそうな名前です。

仕事が忙しく過労気味のときや、ストレスがたまっているようなとき、片目で見るとちょうど中心の見たいところが薄暗くなったり、まっすぐなものが歪んで見えたりしたらこの病気の可能性があります。視力低下はさほどひどくはないので、ちょっとした疲れかなーとやり過ごしてしまう方もいるかもしれません。

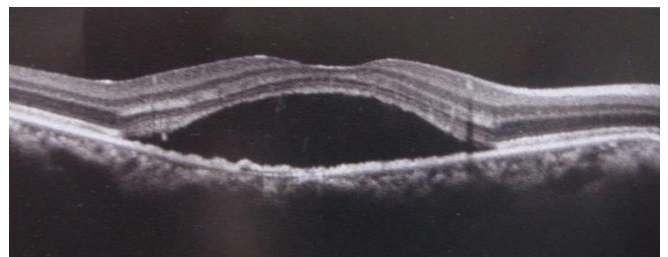
眼底検査をすると、眼底の中心部の黄斑部付近に円形の水ぶくれが認められます。最新の検査機器(OCT)で網膜の断面図を撮影すると、明らかに腫れているのが分かります。網膜の外側には網膜に酸素や栄養分を供給している脈絡膜という組織がありますが、脈絡膜にある血管の循環障害(血流が悪くなったり水漏れが強くなること)がおこり、網膜側に不要な物質(漿液)が流れ込んで水ぶくれを作るといわれています。

この病気は特別な治療をしなくても3～6カ月くらいで自然に治る病気です。治療は主に網膜内にたまっている漿液の吸収を促すため、末梢循環改善薬や網膜の視細胞を活性化させるビタミン剤などを内服します。3カ月たっても改善のない場合はレーザー治療を行うこともあります。

いずれにしても、過労・ストレス・睡眠不足などの影響が少なくないといわれていますので、本当はゆっくりと身体と心を休めていただくのが一番ですが、働き盛りの男性にとってはなかなか難しいことかもしれません…



正常の網膜断面



中心窩付近の網膜の水ぶくれ

目玉いきいきライフ

目玉いきいきライフのコーナーでは、目の健康に関する情報や、耳より情報（眼科だけどっ）をお届けします。



白内障手術のながれ

当院の手術は、日帰りでの手術となります。

《通院1回目》白内障手術の日程を決める。

手術日は、**火・水・木曜日**の午前中です。片目ずつの手術になります。

《通院2回目》手術前検査（要予約）

眼科…目の検査

内科…全身状態

《通院3回目》手術について、先生と看護師からの詳しい説明（要予約）

家族の付き添いが必ず必要です。

2時間くらいかかります

手術後1週間は
洗顔、シャンプーが
できません！



手術当日

手術は20～30分で終わりますが、準備や術後の安静時間を含めると、**午前中いっぱい**（朝から昼まで）かかります。

家族の付き添いが必ず必要です。

帰宅後は自宅安静。次の日の診察まで眼帯をして過ごします。

術後の診察

手術をした週は頻繁に、1ヶ月間は1週間置き、その後は眼の状態により、2週間～3週間置きの診察となります。

白内障手術でわからない事があれば、気軽にスタッフまで聞いてください。

お知らせ

女性に朗報！お肌のための医療用レーザー、「キュリア」を導入しました。リフトアップ、美白、小じわ、しみに効果があります♪（完全予約制）興味のある方は気軽に声をかけてくださいね☆

編集後記

新年を迎えると、毎年一年の抱負を考えますが、つい三日坊主になってしまいます。「継続は力なり」の言葉通りに、日々「丁寧な診療」「明るい挨拶」「ダイエット（笑）」をがんばっていきたいです。クリニック通信は継続してお届けしますので、今年もどうぞよろしくお願ひします！

りっこ・ビビ・プッチ



今年もみんなで、目玉いきいきライフ！